

2025年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年7月5日

東・名

上場会社名 株式会社リヒトラブ 上場取引所
コード番号 7975 URL <https://www.lihit-lab.com/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)田中 宏和
問合せ先責任者 (役職名)常務取締役管理本部長 (氏名)早川 大介 (TEL)06(6946)2558
四半期報告書提出予定日 2024年7月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	2,694	5.9	74	—	93	—	59	—
2024年2月期第1四半期	2,544	0.5	△23	—	△5	—	△7	—

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 217百万円(—%) 2024年2月期第1四半期 7百万円(△96.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	17.63	—
2024年2月期第1四半期	△2.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	13,360	10,374	77.7
2024年2月期	13,117	10,242	78.1

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 10,374百万円 2024年2月期 10,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2025年2月期	—	—	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,900	7.7	140	—	150	—	100	—	29.47
通期	9,500	7.9	250	—	280	—	200	—	58.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期1Q	3,815,700株	2024年2月期	3,815,700株
2025年2月期1Q	422,690株	2024年2月期	422,690株
2025年2月期1Q	3,393,010株	2024年2月期1Q	3,393,265株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年5月31日)における我が国経済は、雇用や所得環境の改善に伴い個人消費が回復するとともに、インバウンド需要や輸出の増加によって企業収益が堅調に推移したこと等により、緩やかな回復基調となりました。一方で、欧米を中心とした金融引き締めや、中東情勢及び中国経済の減速、円安進行に伴う物価高の影響等により、景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、法人需要においては、デジタルトランスフォーメーション(DX)によるペーパーレス化が進行したことにより、縮小傾向が続いております。一方個人需要においては、多様化が進むライフスタイルに呼応する個人の趣味、嗜好を追求した製品の売上げが伸張しております。また、販売チャネルでは、キャッシュレス決済の浸透によりEC市場の成長は続いておりますが、インバウンド需要の回復により実店舗での販売も増加しており、取扱先も文具店や、事務用品専門店から総合スーパーやコンビニエンスストア、ドラッグストア等業態の枠を超える変化が進んでおります。

このような状況のもと、当社グループでは事務用品等事業におきまして「良い品はお徳です」をモットーに、皆様の暮らしに豊かさをもたらす製品、環境や時代及び多様化する需要にマッチした魅力ある製品の開発を積極的に進め、売上の拡大に努めてまいりました。

主な新製品としましては、あなたの毎日に寄り添うノートをコンセプトにした「Mutual(ミューチュアル)」シリーズ、ルーズリーフみたいに、必要なリーフだけ持ち運ぶ事の出来るリングが開くリングノート「オープンリングノート」、「3色の黒」を揃えた就職活動サポートシリーズ「SELFANA(セルフアナ)」等を発表し、売上を伸ばしました。一方既存製品では、主力製品の机収納シリーズの「机上台」、ロングセラーの「ルーパーファイル」や「カラークリヤーホルダー」のほか、「リクエストD型クリヤーブック」、「SMART FIT PuniLabo(スマートフィットプニラボ)スタンドペンケース」、OEM製品等が引き続き堅調に推移いたしました。

この結果、事務用品等事業につきましては、このような新製品の積極的な投入や価格改定効果及び海外向け売上の増加等により前年同期比増収となりました。

不動産賃貸事業につきましては、東京都墨田区菊川の倉庫物件ほか一部テナントに空室が発生いたしましたが、本社ビルや賃貸用住居等が安定して賃料収入を確保した結果、前年同期比増収となりました。

以上により、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,694百万円(前年同期比5.9%増)となりました。

利益面につきましては、製品の価格改定効果等により74百万円の営業利益(前第1四半期連結累計期間は23百万円の営業損失)、経常利益は93百万円(前第1四半期連結累計期間は5百万円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益は59百万円(前第1四半期連結累計期間は7百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

部 門	売上高(百万円)	構成比(%)	前年同期比増減(%)
フ ァ イ ル	841	31.2	4.6
バインダー・クリヤーブック	722	26.8	17.6
収 納 整 理 用 品	827	30.7	1.0
そ の 他 事 務 用 品	182	6.8	△5.9
事 務 用 品 等 事 業	2,573	95.5	5.8
不 動 産 賃 貸 事 業	120	4.5	7.4
合 計	2,694	100.0	5.9

【事務用品等事業】

事務用品等事業は、以下の4部門に大別しております。

<ファイル部門>

クリヤーホルダー、リングファイル、パンチレスファイル、ルーパーファイル、クリップファイル等を主要製品とするファイル部門の売上高は841百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

<バインダー・クリヤーブック部門>

クリヤーブック、クリヤーポケット、ツイストノート、多穴リングバインダー等を主要製品とするバインダー・クリヤーブック部門の売上高は722百万円(前年同期比17.6%増)となりました。

<収納整理用品部門>

ペンケース、机上台、クリヤーケース、バッグ、デスクトレイ等を主要製品とする収納整理用品部門の売上高は827百万円(前年同期比1.0%増)となりました。

<その他事務用品部門>

スライドカッター、コンパクトホッチキス、カルテフォルダー等を主要製品とするその他事務用品部門の売上高は182百万円（前年同期比5.9%減）となりました。

以上の結果、事務用品等事業の売上高は2,573百万円（前年同期比5.8%増）となり、利益面につきましては、製品の価格改定効果等により84百万円の営業利益（前第1四半期連結累計期間は61百万円の営業損失）となりました。

【不動産賃貸事業】

不動産賃貸事業は、東京都墨田区菊川の倉庫物件ほか一部テナントに空室が発生いたしましたが、本社ビルや賃貸用住居等が安定して賃料収入を確保した結果、売上高は120百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は設備更新等に伴う費用を計上したこと等により32百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ242百万円増加し、13,360百万円となりました。これは主として現金及び預金、電子記録債権が増加したこと等によるものであります。負債合計は前連結会計年度末に比べ110百万円増加し、2,985百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が増加したこと等によるものであります。純資産合計は前連結会計年度末に比べ132百万円増加し、10,374百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金及び為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。その結果、自己資本比率は77.7%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、売上高は概ね計画通りに推移し、利益面は生産、物流の効率化、経費等のコスト削減の徹底、価格転嫁等の取組み等の効果により達成可能と見込んでいることから、2024年4月5日発表時より変更いたしておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,242,790	1,462,795
受取手形及び売掛金	1,465,466	1,413,270
電子記録債権	275,755	464,268
商品及び製品	1,884,165	1,628,015
仕掛品	96,717	93,664
原材料及び貯蔵品	573,846	608,806
その他	220,031	261,674
貸倒引当金	△12,487	△12,887
流動資産合計	5,746,286	5,919,607
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,237,479	2,217,605
機械装置及び運搬具(純額)	126,417	120,742
土地	3,336,774	3,336,774
その他(純額)	109,446	105,128
有形固定資産合計	5,810,117	5,780,251
無形固定資産	40,769	42,063
投資その他の資産		
投資有価証券	1,077,971	1,167,603
繰延税金資産	15,260	8,258
その他	433,234	448,474
貸倒引当金	△6,112	△6,112
投資その他の資産合計	1,520,353	1,618,224
固定資産合計	7,371,241	7,440,539
資産合計	13,117,527	13,360,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	192,203	287,561
1年内返済予定の長期借入金	314,000	314,000
未払法人税等	36,142	44,016
賞与引当金	144,497	179,351
役員賞与引当金	15,250	23,010
その他	378,509	408,947
流動負債合計	1,080,602	1,256,886
固定負債		
長期借入金	437,500	359,000
繰延税金負債	241,272	279,101
役員退職慰労引当金	207,426	211,140
退職給付に係る負債	635,712	635,663
その他	272,923	243,732
固定負債合計	1,794,835	1,728,638
負債合計	2,875,438	2,985,524
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,830,000	1,830,000
資本剰余金	1,411,861	1,411,861
利益剰余金	6,342,612	6,317,620
自己株式	△401,552	△401,552
株主資本合計	9,182,921	9,157,929
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	538,152	598,896
繰延ヘッジ損益	138,289	164,367
為替換算調整勘定	308,577	380,087
退職給付に係る調整累計額	74,148	73,341
その他の包括利益累計額合計	1,059,167	1,216,692
純資産合計	10,242,089	10,374,622
負債純資産合計	13,117,527	13,360,147

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年5月31日)
売上高	2,544,486	2,694,467
売上原価	1,869,117	1,894,007
売上総利益	675,369	800,459
販売費及び一般管理費	698,727	725,895
営業利益又は営業損失(△)	△23,358	74,564
営業外収益		
受取利息	12	30
受取配当金	8,539	8,913
受取保険金	1,647	795
為替差益	8,649	11,437
雑収入	1,815	1,429
営業外収益合計	20,665	22,606
営業外費用		
支払利息	357	1,542
支払手数料	2,115	1,630
雑損失	540	589
営業外費用合計	3,013	3,762
経常利益又は経常損失(△)	△5,706	93,407
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△5,706	93,407
法人税等	1,887	33,574
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,593	59,832
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△7,593	59,832

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△7,593	59,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,189	60,744
繰延ヘッジ損益	20,113	26,078
為替換算調整勘定	4,394	71,509
退職給付に係る調整額	1,161	△807
その他の包括利益合計	15,480	157,524
四半期包括利益	7,886	217,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,886	217,357
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,432,214	5,921	2,438,136	—	2,438,136
その他の収益(注) 3	—	106,350	106,350	—	106,350
外部顧客への売上高	2,432,214	112,271	2,544,486	—	2,544,486
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	700	700	△700	—
計	2,432,214	112,972	2,545,187	△700	2,544,486
セグメント利益又は損失(△)	△61,710	38,352	△23,358	—	△23,358

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。
3. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	事務用品等事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	2,573,919	6,617	2,580,537	—	2,580,537
その他の収益(注) 3	—	113,930	113,930	—	113,930
外部顧客への売上高	2,573,919	120,548	2,694,467	—	2,694,467
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	635	635	△635	—
計	2,573,919	121,183	2,695,103	△635	2,694,467
セグメント利益	84,799	32,888	117,688	△43,124	74,564

- (注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。
(1) セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
(2) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. その他の収益の主なものは、不動産賃貸収入であります。